

Ex転記 機能一覧

この機能一覧は 2010年5月14日現在のものです

分類	機能名	機能詳細	Ver 1.0	Ver 1.1		別製品として ご提供	
			Standard版	Standard版	Professional版		
基本機能	セル転記	CSVファイルの1レコードを1つのセルに転記する機能	○	○	○		
	行転機	CSVファイルの1レコードを1つの行に転記する機能	×	×	×	●	
入力ファイル	単一ファイルの読み込み	入力ファイルのCSVファイルは1つのみ指定可能	○	○	○		
	複数ファイルの読み込み	入力ファイルのCSVファイルにワイルドカード指定が可能 (転記時に複数ファイルが同時に読み込み可能となります)	×	×	○		
	入力ファイルの属性制御	・文字コード	利用できる文字コード (Shift-JIS以外)	×	×	注1	
		・区切記号	利用できる区切記号 (カンマ以外)	×	×	注2	
		・改行	利用できる改行コード (CRLF以外)	×	×	注3	
		・空白の除去	項目の先頭と末尾の空白の自動除去	×	×	○	
ヘッダ有無の制御	ヘッダ有無の定義とヘッダの読み飛ばし機能	○	○	○			
入力ファイルの自動解析	入力ファイルレイアウト定義時の自動解析機能	○	○	○			
転記位置制御	シート決定方法	・シート決定マスタを参照	転記シートをシート決定マスタを参照して決める機能	○	○	○	
		・キー項目をシート名とする	転記先シートとしてキー項目の値を利用する機能	○	○	○	
		・テンプレートに直接転記	転記先シートとしてテンプレートシートに転記する機能	○	○	○	
	行決定方法	・行決定マスタを参照	転記する行を行決定マスタを参照して決める機能	○	○	○	
		・シートを検索する	転記する行をシートを検索して見つける機能	○	○	○	
	列決定方法	・行決定マスタを参照	転記する列を列決定マスタを参照して決める機能	○	○	○	
		・シートを検索する	転記する列をシートを検索して見つける機能	○	○	○	
	キー項目の数	転記位置決定に利用できるキー項目の数	3項目	3項目	3項目		
	転記位置が無い場合の処置	・その他に転記する	転記位置が決まらなかった場合にその他に転記する機能	○	○	○	
		・無視して続行する	転記位置が決まらなかったレコードを無視して続行する	○	○	○	
		・エラーとして中断する	転記位置が決まらなかったレコードがあればエラーとする	○	○	○	
	その他シート名の指定	その他シートとして作成されるシートの名称の指定	○	○	○		
その他に含まれたキー値の把握	その他に含まれたキーの値をリストアップする機能	○	○	○			
・リストアップシート名の指定	その他に含まれたキーの値をリストアップするシート名を定義する機能	×	×	○			
キーとなる項目の部分参照	・文字項目の部分参照	文字項目を部分参照する機能 (nバイト目からm桁)	○	○	○		
	・数字項目の部分参照	数字項目を部分参照する機能 (下n桁)	○	○	○		
	・日付項目の部分参照	日付項目を部分参照する機能 (年月のみ・月日のみ・年のみ)	○	○	○		
ELSE指定	転記位置決定マスタに「○○以外」を指定する機能 (補足1)	×	×	○			
項目の範囲指定による行・列の決定	1001円~2000円といった範囲(下限~上限)を指定しての転記位置の決定	×	○	○			
転記対象制御	転記対象データの指定	・対象条件	転記対象データを指定する機能 (注4)	○	○	○	
		・読み飛ばし条件	転記しないデータを指定する機能 (注4)	○	○	○	
		・指定可能な条件の数	対象条件または読み飛ばし条件に指定可能な条件の数	3つ	3つ	3つ	
転記内容制御	転記できる項目の数	セル転記時に転記できる項目の数	1項目	1項目	4項目		
	同一セルへの転記時の制御	・合計 (集計)	同一セルへの転記時に値を加算する機能	○	○	○	
		・カウント	セル転記時に項目の値ではなく転記回数をカウントする機能	×	×	○	
		・先頭	同一セルへの転記時に最初に発生した値を転記する機能	×	×	○	
		・最後	同一セルへの転記時に最後に発生した値を転記する機能	×	×	○	
		・最小	同一セルへの転記時に最小値を転記する機能	×	×	○	
・最大	同一セルへの転記時に最大値を転記する機能	×	×	○			
ヘッダ部やフッタ部への転記	転記項目以外 (ヘッダ部やフッタ部) への固定的な転記機能	×	×	○			
転記の実行	対話型による実行	転記プログラムをメニューから起動して実行する機能	○	○	○		
	自動実行	転記プログラムを他アプリから引数渡しにて起動する機能	×	×	○		
	転記開始時の処理の指定	・チェックしてから転記する	転記開始前に入力ファイルの整合性を先に検査してから転記を実行する	○	○	○	
		・転記しながらチェックする	転記しながら入力ファイルの整合性を先に検査する	○	○	○	
	転記終了時の処理の指定	・終了する	プログラム終了メッセージを表示する。	○	○	○	
		・エクセルを開く	転記が完了したエクセルブックを開いて終了する。	○	○	○	
・エクセルのあるフォルダを開く		転記が完了したエクセルブックのあるフォルダを開いて終了する。	○	○	○		
総括シートの作成	転記完了時に転記時に作成されたシート以外に転記内容を総合計したシートを作成する	×	○	○			
ALLゼロ行・列の削除	転記完了時に転記位置が全てゼロの行や列を削除する	×	○	○			
その他機能	転記処理の開始終了ログ	転記プログラムの起動時ログ・終了ログの採取	○	○	○		
	マスタの自動バックアップ	Ex転記のマスタのバックアップ機能	○	○	○		
			正式発売日 (注5)	2010/6/2	2010/8/26	未定	

オプション機能	テンプレート作成支援プログラム	過去の入力ファイルを読み取りテンプレートとなる縦・横マトリクスを生成する機能	Option	Option	Option	
			正式発売日 (注5)	未定	未定	未定

注1: 対応する文字コード Shift-JIS, JIS, EUO, UTF-8, UTF-16 (UTF系はBOM有無にも対応します。またUTF-16は ビッグエンディアン、リトルエンディアンの双方に対応します。)

注2: 対応する区切記号 カンマ、セミコロン、タブ、空白

注3: 対応する改行コード CRLF, CR, LF

注4: 対象条件と読み飛ばし条件はいずれか一方のみ指定可能

注5: 発売予定日は変更になる場合があります。(β版は先行して配布を行います)

補足1: 「大阪」「東京」「その他」というグループ分けは「その他転記機能」で実現可能です。

ELSE指定はキー項目が2つ以上ある場合に有効な指定で、「大阪 (大阪市)」「大阪 (大阪市以外)」「東京 (23区内)」「東京 (23区以外)」「その他県」というグループ分けをする場合に、

「大阪 (大阪市以外)」「東京 (23区以外)」というキーの一部で「○○以外」という指定を行う事を可能とする機能です。

補足2: Ver1.0購入者はVer1.1 Standard版への無償バージョンアップが可能です。(原則的にバージョンアップ費用が発生するのは上位エディションへの変更もしくはメジャーバージョンの違う製品への買い替え時のみとなります)

補足3: 行転記機能は設定画面や転記機能の内容がセル転記機能と大きく異なるため、「Ex転記 行転記版」として別製品としてのご提供となります。(行転記版のEx転記についての詳細についてはお問い合わせください)